

技アリ!

いわての仕事録



12 食事は料理を客が自ら取り分けるビュッフェ形式。手前が温かい料理を提供するホットテーブルで、奥にはサラダやデザートを設置。和食からパスタ、中華系などメニューは多彩。
 13 「ひな野」の店内には時計が一つもない。「時間を忘れてゆっくり食べて欲しい」というお店からのメッセージが込められている。
 14 無添加・店内調理を基本とする「旬菜食健ひな野」。11時のオープンに向けて続々と仕上がりつつある料理を並べる。ホットテーブルの料理は温かいまま提供できるように気を配る。
 15 開店前のミーティング。店内調理のため、厨房や配膳などスタッフ数は多い。
 16 17 厨房を取り仕切るスタッフたち。「健康食でもおいしいが、ひな野のポリシーです」と、料理長の浅沼美緒さん(写真16)。
 18 「ひな野」津志田店オープン時のスタッフ写真。手前中央に明戸均会長の姿が。
 19 盛岡市民はもとより観光客にもおなじみ、市内八幡町にある「初駒本店」。

「食」というステージで 挑戦し続ける企業を

【支援企業紹介】盛岡市 株式会社 初駒

「わんこそばの店」から脱却 自然食ビュッフェで新顧客獲得

日本人の食生活を大きく変えてきた外食産業。しかし近年は嗜好の多様化や細分化により、苦戦を強いられている業態もある。このような中で移り変わる食の流行を見極め、いかに事業を継続していくかが、企業の命題といえるだろう。盛岡市内で、和食店「初駒」をはじめ「旬菜食健ひな野」「旨いとかつ あけと」「自然派総菜 八角箸」を経営する株式会社初駒も、そんな外食産業の趨勢を乗り越えてきた会社である。

初駒といえば「わんこそばの店」として有名だ。昭和35年、盛岡バスセン

ターの2階に開業した1号店は、当時の観光ブームやわんこそばブームを追い風に成長していく。だが平成に入り、2店目の出店を果たした平成8年頃から状況が変化。「バブルが弾け、観光客が著しく減少した。わんこそばありきの経営から脱却し、業態の転換にも迫られたのです」。創業者、そして現会長の歩みを振り返って話す今野敏博社長。平成18年には自然食に特化した「ひな野」を開店するも、知名度がなく苦しい時代が続いたと続ける。

「周りは心配しましたが、会長は『ひな野はこれからの店だ』と信じていた。その後、中国の食品偽装事件などもあり日本人の意識が変化、食の安

時代に合わせ変化してきた日本人の食スタイル。「わんこそばの店」としてスタートした株式会社初駒も、今や多様な業態の店舗を抱えている。次の展開について、今野敏博社長のビジョンと夢を伺った。

【いわて産業振興センター活用事例】
 新店舗「ひな野 津志田店」で設備貸与制度を利用。今後はセンターと若手経営者を繋ぐような勉強会の実施を希望、また雇用育成など就業に繋がるような制度があれば利用したい

全や品質などの『価値』が重視されるようになったのです」。

それに呼応して、「ひな野」は知名度も売上も上昇していった。

時流に合わせた店舗展開を実施 スタッフからも愛される会社に

平成26年には、「ひな野」のノウハウを応用した総菜店「八角箸」が市内の百貨店「Nanak(ななっく)」内に開店。そして今年8月には市内津志田に「旬菜食健ひな野」の2号店も開店、和食を軸に豊富なメニューと店内調理にこだわったビュッフェ形式は1号店同様に女性客から支持を得ている。

そんな同社で次の主軸となりそうな事業が、平成23年に開店した「旨いとかつ あけと」に象徴される“小さな店”だ。現に手軽に定食メニューを味わえる同店は、サラリーマン層にすでに浸透している。

「実は40席程度を数人のスタッフで回す店は、小規模で売上を上げていくにはベストバランスで、大手牛丼チェーン店などでも取り入れられています。大型店やフランチャイズではなく、自分たちで経営する小さな店づくりに取り組んでいきたい」。そのために、今野社長が重視するのがチームづくり。「スタッフと一緒に会社の将来ビジョンを描き、皆が『初駒に勤めてよかった』と思えるような会社になりたい」

と熱を込める。
 現会長は3年前、61歳という年齢で勇退。現在は初駒本店のある市内八幡町の活性化を目指す「もりおか八幡界限まちづくりの会」の会長として、八幡ぼんぼこ屋台村の実施など忙しい日々を送っているという。「会長がやりたかったのは、人が集まり、互いに必要とされる喜びを作りだすこと。この会社も、お客様からもスタッフからも愛されるような存在になればいい。それはきっと、会長の取り組む町づくりと同じくらい、気持ちがいい事だと思う」。
 町も会社も「人」ありき。業態は変化しても理念は受け継がれていく。

チャレンジ精神にあふれたチームづくりが鍵

会社は経営者だけのものではありません。スタッフからの「こういう店を作ってみよう」という声も大事にして、誰もが勝負したい時に勝負できるような環境づくりをしていきたい。それが働くことへの意義ややりがいにも繋がると感じています。

技アリ!ポイント

企業データ

会社名 株式会社 初駒
 本社 盛岡市八幡町10-21
 電話 019-651-7184
 代表者 今野 敏博

創業 昭和35年(1960)4月
 従業員 67名
 業種 一般飲食店、仕出し弁当、土産販売
 U R L <http://hatsukoma-group.com/>

代表取締役社長
今野敏博

